

ルール形成戦略の即戦力を育成する“CRSプログラム”のご紹介 ～Center for Rule-making Strategy Program～

ルール形成戦略研究所

2017年

CRSプログラム創設のご紹介 (Center for Rule making Strategy Program)

ルール形成戦略研究所は、多くの企業様からルール形成戦略に特化した即戦力育成プログラムを用意して欲しいという声を受けて、2017年4月から開講する「MBAルール形成戦略コース」の中の「ルール形成戦略に特化した授業だけをパッケージにした1年間の研修プログラム」をCRSプログラム (Center for Rule making Strategy Program) として2017年4月からスタートすることに致しました。

CRSプログラムはルール形成戦略研究所が運営する研修であり、座学だけでなくフィールドワークも通じてルール形成戦略に必要な思考力および構想力、戦略立案スキル、日本および世界のポリシーメーカーとの人的ネットワークも築ける実践的な内容となっております。

第1期生はまず、10名でスタートすることとし、早速募集を開始しました。

是非、次世代ルール形成人材の育成基盤としてご利用頂ければと思いますので、積極的にご検討下さい。

ルール形成戦略研究所 CRS:Center for Rule making Strategy

顧問 甘利明 衆議員議員
(前経済再生担当大臣・TPP担当大臣・経済産業大臣)

所長 國分俊史
(デロイト執行役員・パシフィックフォーラムCSISシニアフェロー・多摩大学大学院教授)

副所長 徳岡晃一郎 研究科長
(フライシュマンヒラード パートナー)

客員教授陣

1. 福田峰之 衆議院議員(前内閣大臣補佐官)
 - ✓ 自民党政務調査会知的財産戦略委員会 コンテンツ小委員会事務局長、自民党議員連盟「リバランス研究会」会長
2. 藤井敏彦(関東経済局長)
 - ✓ 元通商政策課長、WTO通商政策の専門家であり経産省通商政策局にルール形成戦略室を創設
3. 角南篤(政策大学院大学副学長 内閣府本府参与)
 - ✓ 外務省 科学技術外交推進委員、文部科学省 科学技術審議委員、内閣府総合科学技術・イノベーション会議基本計画委員として技術革新に伴うルール改革に従事
4. 市川芳明(日立製作所)
 - ✓ 社会イノベーション協創統括本部 チーフアーキテクト室長でISO議長経験多数
5. 羽生田慶介(デロイトトーマツコンサルティング)
 - ✓ 元通商政策局にてEPA交渉を担当。現在はデロイトのパートナーとしてルール形成政策の政府アドバイザーおよび日本屈指のルール形成専門家としてテレビ・新聞多数
6. 岡田宏記(フジテレビ)
 - ✓ 長年わたくし報道・情報系の番組プロデューサーを務め、メディアと政策形成の専門家
7. 井形彬(パシフィックフォーラムCSIS研究員)
 - ✓ 安全保障政策の専門家として多くの委員会や研究プロジェクトに従事し、米国の著名な専門家との親交も深い

CRSプログラムはMBAルール形成戦略コースの中のルール形成戦略特設科目だけに特化した1年間の理論習得と人的ネットワークを得られる即戦力プログラムです

▶ 社会課題起点のルール形成戦略論

國分 俊史 教授

社会課題を解決するイシューエコシステム設計とグローバル市場へのルール形成アプローチを理解し、事業成長に応じて社会課題解決力も高まるビジネスモデルが構想できるようになる。

▶ メディアとルール形成

ルール形成戦略研究所 客員教授

現代の様々な社会制度が形成された経緯とメディアが果たした役割を理解する。今後の社会課題の解決に向けてメディアの足らざる点と為すべきことを学び、未来に向け具体的な施策をも構想できるようになる。

▶ 国際通商ルールと経営戦略 (経済連携協定(FTA・EPA)と経営戦略)

羽生田 慶介 客員教授

TPPをはじめとする経済連携協定・自由貿易協定がビジネスに与える影響を詳細に理解し、効果的な対応により企業収益を即座に上げる手法を身につける。

▶ ルール形成戦略研究所特別講義

ルール形成戦略研究所 客員教授

ルール形成力を国家レベルで高めるために政治、官庁、学会、民間企業の立場で取り組まれている最先端と活動とより発展させていくために必要な日本の構造改革のポイントを理解する。

▶ ルール形成産業構造論

羽生田 慶介 客員教授

ルール形成と企業収益・産業競争力の関係を網羅的に紐解く。企業経営者に対し、ルール形成の必要性・有効性を「収益」を結語にした論調で説明できるようになる。

▶ 安全保障経済政策

國分 俊史 教授 / 井形 彬 客員教授

米国リバランス、人権外交、自然災害対処、北極海航路などについて、国家間の外交事項として傍観者になるのではなく、経営戦略の機会に転じていく能動的関わり方の視座を持つ。

真の実践力を養う 超実学派ビジネススクール



TAMA GRADUATE SCHOOL OF BUSINESS
多摩大学大学院

少人数クラスだから、深く、濃く、丁寧に学べる。
品川駅から2分。仕事を続けながらMBAを取得できます。

2017年4月、
新コース開設!

MBA
ルール形成
戦略コース

育て、社会システムを改革するイノベーター

フィールドワーク

▶ 議員事務所でのインターン

國分 俊史 教授

国会議員または地方議員の事務所議員および議員秘書と一緒に地盤創り、政策を構想していくための視察や地域での意見交換、部会での討議などを一定期間同行およびサポートすることで、政治家の活動を深く理解し、政治家との関係作りや連携方法を理解する。

▶ ルール形成戦略研究所インターン

國分 俊史 教授

研究所で取り組んでいる各ルール形成研究会の運営をサポートしながらルール形成の現場を学ぶ。合わせて日本が取り組むべきルール形成アジェンダの発掘から、仕掛けていくうえで有効なルールの切り口をデザインし、研究所の教授陣へプレゼンを実施する。

▶ ワシントン政策シンクタンクでの討議

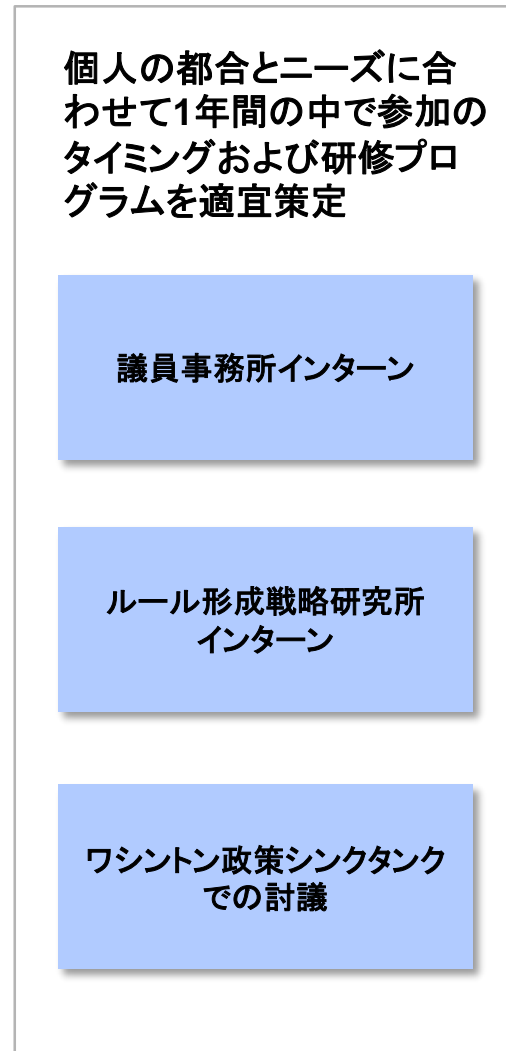
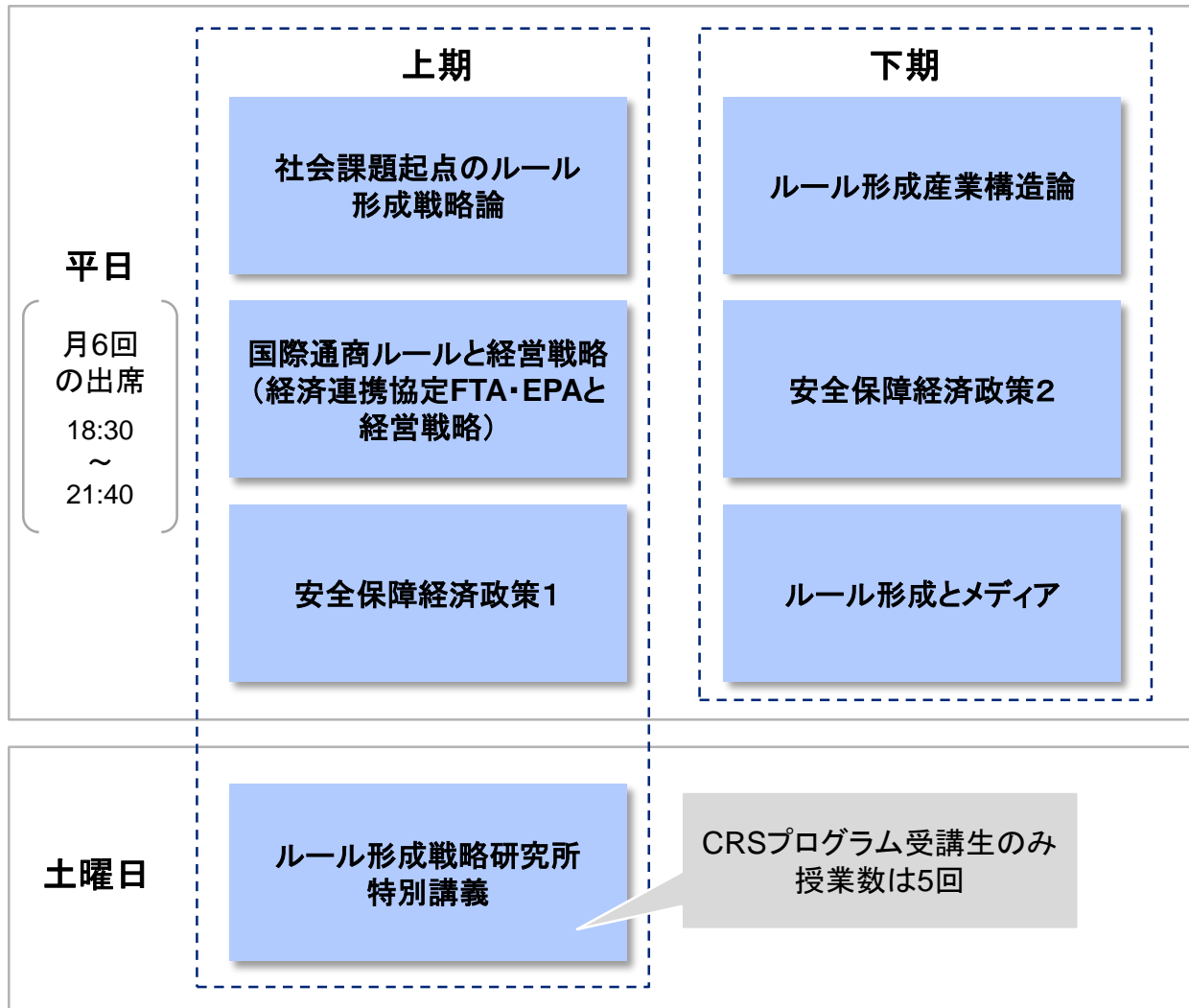
國分 俊史 教授

アメリカの政策シンクタンクがどのような方法で新しいアジェンダをセットし、アジェンダセッティングからルール形成への落とし込みを展開しているのかを学ぶ。学生が関心あるルール形成アジェンダに取り組んでいるシンクタンクと意見交換しネットワークも作る。

平日の夜を中心とした座学と、個人の都合に合わせて実施時期と内容を調整したフィールドワークからなるプログラムです

座学

フィールドワーク



場所: 品川サテライトキャンパス(港区港南2-14-14 品川インターシティフロント5F)

CRSプログラムは高い実践性を備えたプログラムとして4つの特徴を有しています

特徴①

政産官学からルール形成戦略の第一人者が結集する教授陣

現役の政治家、官僚、学者、経営戦略コンサルタント、民間企業のルール形成戦略担当、マスコミの報道部門担当から構成されており、リアルタイムで進行中の最前線のルール形成の情報を織り交ぜたルール形成戦略のアプローチが学べる唯一無二の場です。

特徴②

研修中にルール形成戦略研究所の客員研究員として研究所の活動に参画

ルール形成戦略研究所では既に様々なルール形成に取り組んでおり、いくつかの研究会が発足しています。研修生は客員研究員として所属することができ、ルール形成に様々な立場で参加することができます。

特徴③

日本で初めて外交、軍事、通商を一体化した授業である安全保障経済政策を体得

海外の安全保障経済政策シンクタンクのネットワークを有効活用し、座学およびフィールドワークを通じて安全保障経済政策をルール形成戦略という視点から読み解く実務的なノウハウを体得します。

特徴④

実践的なフィールドワークを通じたポリシーメーカーとのネットワーク構築と政策形成プロセスへの深い理解

議員事務所でのインターンを通じた政治家目線からの政策形成プロセスの理解、コンサルティングファームでのルール形成戦略プロジェクトへの参画を通じた戦略構想の経験、海外の政策シンクタンクの訪問によるグローバルなフィールドでのルール形成の実践を経験することができます。

CRSプログラムの受講手続き概要

受講資格者

- 企業派遣により企業から推薦を受けた方。
- 個人で受講を申し込まれる方については1時間程度の面接を行い、当研究所が考える人材育成方針との適性を評価させていただきます。

授業の運営について

- MBAルール形成戦略コースの時間割に沿って授業は行われ、MBAコースに在籍している学生と一緒に受講頂きます。
- フィールドワークは、本人および派遣元の希望に応じて投下時間数を適宜コントロールする運営とし、MBAルール形成戦略コースの単位取得時間数に縛られない運用に致します。
- 各授業で講師から出される課題への取り組みは必須対応と致します。

評価について

- 原則、研修であるため評価は行いません。
- ただし、企業派遣の場合で派遣元企業として研修期間中のパフォーマンス評価のフィードバックを希望される場合は、MBAルール形成戦略コースと同様の観点から評価を行います。

研修期間中のルール形成研究所への関わりについて

- CRSプログラム受講期間中はルール形成戦略研究所の客員研究員として研究所が運営している研究会に参加することができます。

研修終了

- 研修終了時にはルール形成戦略研究所より、「CRSプログラム修了証書」を授与致します。
- ただし、著しく授業の出席率が低かった場合は修了書を授与できないことがあります。

研修期間

- 4月から翌年3月までの1年間(論文の提出義務が無いため、実際には授業は2月で終了致します)

価格

- 120万円(フィールドワークに伴う渡航費、交通費、宿泊費は別途自己負担頂きます)

申込み・お問い合わせ

- 品川サテライトオフィス 03-5769-4170 (代表) E-mail: tgs@tama.ac.jp